



いわき市立大野中学校

学校だより 第9号

令和元年11月7日(木)
発行責任者：校長 田中 淳一
TEL：0246-33-2233

教育目標：自立と貢献(稼げる大人, リーダーシップのとれる大人になる)
育成したい力：自己マネジメント力 協働する力 探究する力

御城祭を開催しました

10月27日(日), 御城祭を開催することができました。初めて御城祭を見る者にとっては、「準備の一つ一つ, 1コマ1コマが本番のここにつながっていたんだ。」という発見の連続となりました。また, 普段の学校生活とは異なる生徒の表情や仕草や声色を見たり聞いたりして, 今後の伸びしろが感じられ, 「大野中生やるじゃん!!」という期待が高まりました。



本校には, 生徒数の多さがもたらす勢いはないかもしれませんが, 一人一人の「経験値」「自己マネジメント力×協働する力×探究する力」などの資質・能力では, 他校に勝るとも劣らないようにしたいと考えています。たとえば, 「山椒は小粒でもぴりりと辛い。」と言える学校です。そのためには, 生徒も教師もチャレンジすることが欠かせませんし, 保護者や地域の皆様との協働関係も必要です。次代を担う生徒たちの教育活動に対して, 今後ご支援をよろしくお願いいたします。



授業時数の確保について

台風19号の影響による臨時休業等を考慮し, 本校では, 授業時数確保の措置を取っていきます。具体的には, 年度当初の計画で4校時, 5校時だった授業日を, 6校時に変更するなどです。生徒の学力を保障するにあたり, 学習指導要領で定められた各教科等の授業時数を確保することは, 学校に課せられた最優先の課題ですので, ご理解の程よろしくお願いいたします。



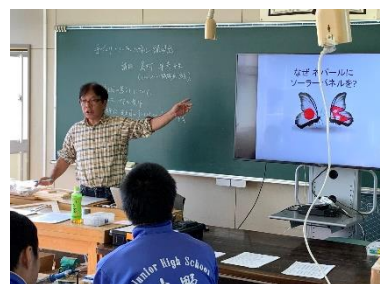
「中学生の主張」いわき東部支会大会

11月5日（火）、「第34回『中学生の主張』いわき東部支会大会」（主催：いわき中央ライオンズクラブ）に、本校2年生が出場しました。この大会は、「現代に生きる中学生同士が互いに意見を発表し、将来の生活、進路、希望などについて考える」ことを目的としています。大会では、各学校の代表生徒、計12名が意見発表をしました。本校生徒は、「変わるための一歩」という演題で発表しました。本校生徒の主張は、自分自身の弱さや課題と向き合うことの大切さを等身大の言葉で表現したものでした。審査の結果、入賞には至りませんでした。自己の考えをまとめ、他者に伝えるという経験は、何よりも優先したい学びの一つです。今後も様々なチャンスを捉えて、本校生徒の「読む力」「書く力」などを高めていきます。



ソーラーパネルの製作

11月5日（火）、3年技術科の授業では、ソーラーパネルの製作をしました。外部講師として、「小川みらい協議会会長」の島村守彦先生をお招きしました。この授業は、いわき市環境企画課が実施する「環境まちづくり担い手育成事業」の支援を受けて実現しました。島村先生からは、「東日本大震災では、170もの国や地域からの援助を受けた。2015年にはネパールで大地震が起き、未だに不自由な生活を強いられている人が大勢いる。電気も十分に通っていない所もあり、夜間は真っ暗な中で暮らしており、ソーラーパネルを贈ることにより、生活改善に向けた支援をしていきたい。」といったお話をいただきました。その後、3年生はソーラーパネルの製作に取りかかりました。完成したソーラーパネルは、ネパール語によるメッセージを添えて、年末には島村さんが現地に届ける予定です。



1枚のセルで0.5Vの発電が可能。17枚のセルを直列に半田付けし、8.5Vの発電が可能となる。発電した電気は、蓄電池に充電し、夜間の照明として利用する。

半田付けしたソーラーパネルを太陽光に当て、テスターで通電テストを実施。どのパネルも正常に発電できていることを確認。4人の班で、ソーラーパネルを1枚製作。計3枚製作。今回作成したソーラーパネルは、今後、約20年間使用が可能。

教育目標「自立と貢献」

本校の教育目標は、「自立と貢献」です。本校ではこの教育目標を、“目指す大人の姿”に言い換えています。それが、「稼げる大人」「リーダーシップのとれる大人」です。「稼げる大人」とは、＜仕事をして経済的に自立し、社会的な信頼を得て、世の中に貢献できる大人＞になること、「リーダーシップのとれる大人」とは、＜自分や他者（社会）のために、何かのせいにならず、主体的・協働的に問題解決できる大人＞になることです。「隗（かい）より始（はじ）めよ。」の教えがあるように、まずは私たち大人がそのような姿を、学校、家庭、地域社会などの様々な場面で示していくことが大切だと考えます。

